

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年11月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104225
法人名	株式会社 グロリアコーポレイション
事業所名	グループホーム めぐみの丘坂元
所在地	鹿児島県鹿児島市坂元878番地1 (電話) 099-248-2355
自己評価作成日	令和3年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年10月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い敷地の中に1ユニットのホームです。常にリビングから外庭を眺められ、四季折々に季節感を利用者様と一緒に共有します。一人ひとりに寄り添い、“自立支援”を目標に支えながら、日々明るく楽しく過ごせるよう全力で支援しています。地域住民との交流も盛んに行われ、自然の中、常に草木が生い茂る為、住民の方が自発的な活動協力を行って下さり、又ボランティアの方が定期的に訪問して下さり、折り紙作り・七夕飾り等、行事に合わせて利用者様と共に作品制作取り組んだりしております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は自然豊かな環境に恵まれ、地域住民から四季折々の旬の野菜や果物などの差し入れやみかん刈りをさせて頂く等、地域住民との交流が活発である。ボランティアグループとの交流もあり、今年も手作り作品が届いている。
- ・利用者と職員は、旬のへちまやつわぶき採り・ヨモギ団子作りを楽しんだり、笑顔も多く安心して暮らせる事業所である。
- ・外出時はタクシーを利用し、今春の木市に全員で出かけている。コロナ感染予防の為、いつもの楽しみ方とは違った楽しむ支援ができています。
- ・管理者は認知症介護の経験が豊富で、利用者や職員の気持ちに寄り添い、利用者が安心して過ごしやすく、職員には希望に応じて休みの取れる勤務体制で、働きやすい環境作りをしている。
- ・管理者と職員、また、職員間もチームワークがよく、なんでも気軽に相談できる関係性を構築している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎年基本理念・ケア理念を職員と共有して、振り返りつつ利用者に接しています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念とケア理念を作り、朝の申送りの時に唱和、共有している。ケア会議で振り返り実践に繋げている。玄関や事業所内に掲示し、パンフレットに事業所理念を掲載している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍の現実は厳しいですが、町内会長様始め民生委員の方達・近隣の方達からの情報を得ながらできる様交流している。	町内会に加入し、回覧板を通して地域情報を得ている。清掃活動に参加している。コロナ感染禍で交流は減少しているが、ボランティアからの作品が届いたり、近隣住民の協力で事業所周囲の草刈、旬の野菜の差し入れやみかん刈りをさせて頂く等、交流している。地域住民の相談にも応じている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍の中でもボランティアの定期的支援（七夕飾り、敬老の日等）を通して、認知症の理解・協力をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ禍ではなかなか2ヶ月に1回の運営推進会議開催は無理な事もありますが、ホームでの会議の内容や相談等、電話等で話し合ったり、意見交換してサービス向上に活かしている。</p>	<p>コロナ感染禍で定期的な運営推進会議は出来てないが、2ヶ月毎にケア会議で意見交換し、会議内容を電話で報告し、意見を聞いている。事業所が避難場所になることもあるので協力の依頼を受けたり、相談の電話等、意見交換をしながらサービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市との連携・相談事は町内会長さんとは2ヶ月1回の運営推進委員会時の議題・問題提起等、民生委員の方達まで通じる様に協力関係を取り組んでいます。</p>	<p>市担当者とは、申請や相談事を直接窓口に出向いている。また、事業所の実情を伝える等、日頃から連携、協力関係を築いている。生保担当者とは常に連携、協力し情報共有している。市主催の研修にもリモートで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設けて定期的に研修を行い、緊急やむを得ない場合、内容・目的・拘束の時間・期間等を記載した説明書・経過観察・検討記録整備、身体拘束等の適正化の為の指針の整備を行っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回開催し、事業所内研修で事例を通して身体拘束や虐待・スピーチロック等の言葉遣いについて意見交換している。物を投げるなどの危険行為時の対応について、入居時に同意書をもらい、注意後は抱きしめるなどのフォローをする支援をしている。日中の玄関施錠はせず、見守り支援や寄り添いながら、散歩の支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>委員会を中心に高齢者虐待防止法・関連法を学び、職員一人ひとりが知識を共有できる様に努めている。虐待防止の為の対策を検討する委員会を設け、定期的な研修の実施、適正化の為の指針の整備を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>身内のいない方・家庭の事情等、孤立されている利用者様に安心して生活支援できる様に成年後見制度を学び研修に参加したり、活用できるよう努めています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>今年4月介護保険改正に伴い家族への連絡、変更された部分等、疑問点、不安がないよう継続して説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居年数にもよりますが家族の環境の変化もあり、相談・意見・要望を受け入れ、信頼関係を築いていきます。運営に関する事項に関しては、いつでも見られるように玄関窓口に掲示してあります。</p>	<p>利用者の意見は、暮らしの中で思いを把握している。家族からは、窓越し面会や電話で意見や要望を聞いている。便りを3ヶ月毎に、写真と一筆箋で生活状況を郵送し報告している。必要時、電話で意見や要望を聞いて反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>本社からの伝達事項等、細やかに報告、ケア会議などでもとり上げ、職員との意見交換しています。</p>	<p>管理者は、申し送りや月1回のケア会議で意見や提案を聞いている。日々の関わりや年1回の個人面談でも懇談をしている。管理者が要望を取り入れたシフト作りや有休の体制で、働きやすい環境作りをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が働きやすい環境作りに気配りして、一人ひとりの健康状態・勤務状況、細やかに話し合いの場を持ち、条件の整備に取り組んでいます。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者として職員を育てる取り組みを第一と考え、一人ひとりの個性・能力・介護力を見極め、研修参加への促進等全力で、前身するように努力します。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年はコロナ禍の為集会する場が得られず、テレワークや同業者同士とも対面でなく、電話相談勉強会しか出来ず、最小限のサービス向上に向けての取り組みをしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に施設見学をして頂き、施設での特徴を説明するとともに、ご本人の要望・お気持ち等伺っている。場合によっては、訪問面談し、生活環境等の情報を集め、支援に反映させることで安心して施設での生活を開始出来るよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に施設見学、面談をし、施設の特徴を説明するとともに、ご家族の要望、気にかかっている点等伺っている。契約時の面談の際、ご本人にどのような生活を送ってもらいたいのか、要望を伺い、今後の関係づくりの土台を築くよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前のご本人、環境を把握するよう努め、施設内の支援以上のことが必要と考えられる際には、サービス担当者会議を設け、ご本人のお気持ちを考慮し、導入している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>会話の中で本人の今までの暮らし方・趣味興味のある事等聞き、一緒に共有し、出来る事は提供してあげる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>感染防止対策のため一緒に食事等できないが、ホームのたよりや電話連絡等で、本人の状況を家族にも知らせ、共に支えているようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>マスクやフェイスシールド・パーテーションを用い、いつでも入居者様との面会ができる様にしている。手紙や電話も希望に応じ利用して頂いている。</p>	<p>感染対策を徹底し、窓越し面会、手紙や電話での支援をしている。タクシーを利用して個別での買物、馴染みの訪問理美容を必要時依頼する等、馴染みの人や場所との関係が途切れない支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクレーションや外出時も利用者同士が関わり、関係が良くなるように声掛けし、お互いに支え合えるように心がけている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後ご家族が電話や訪問に来られ、相談・現状報告されたり、ボランティア活動に来られたりすることもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを図り、一人ひとりの思いや希望・意向の把握に努めている。また職員間で情報を共有するため、話し合い・記録する事で、支援に入居者の意向を反映できるよう努めている。困難な場合には、代替案、妥協出来ることはないか会議の際検討している。	日々のコミュニケーションの中で個々の思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、家族と話し合い、声の発し方や行動の変化があると、職員間で意見交換して、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族から聴取した生活歴等については入居者毎にファイルがあり、情報を職員間で共有し、コミュニケーションや環境整備、支援内容に反映させるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェックを行い、個人別に記録している。他に日々の様子をケース記録に、特記事項や主な活動については業務日誌に記入し、職員全員が一人ひとりの状況を把握するよう努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>モニタリング、アセスメント時にご本人、ご家族にお気持ちや生活の意向、心配な点を伺っている。さらに会議で取り上げ、必要な支援についてアイデアを出し合い、支援内容を決めている。モニタリング時支援内容とご本人の状態にズレが生じている様子がある時も会議で意見を聴取し状況を確認し、介護計画に反映させるよう努めている。</p>	<p>本人や家族の意見や希望を聞き、主治医の意見を取り入れ、担当者会議で意見交換し、介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に行い、6ヶ月毎に見直している。状況変化時は、その都度見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に一日の様子を記録し、情報を共有している。また、勤務交代時に申し送りを行い、必要な支援が途切れたり、状態変化を見逃さない様、注意している。状態変化が一時的でない、と判断できる場合は会議で情報共有し、支援内容の見直し等を検討している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>様々な背景、個性をもつ入居者の方達を日々観察し、理解するよう努めている。そのうえで、心身の状態の変化に合った作業、家事の提案、介助方法を実践し、意向を尊重しながら柔軟に対応出来るよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>現在地域との交流が制限されている中で、草刈り作業の方、理容師、郵便配達員、近隣住民等と短いコミュニケーションをとることも出来ており、地域の一員であることを実感できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>常日頃から訪問医との連携を密にし月2回の受診時に指導を受けている。家族に同意得て、適切な医療を受ける為に協力してもらっている。</p>	<p>本人や家族の希望により、協力医療機関が主治医で月2回の訪問診療や必要時は往診もある。緊急時は管理者から主治医に連絡し対応している。歯科の訪問診療もあり、家族の意向で訪問看護師とも契約し、適切な医療を受けられるよう支援している。結果は家族に報告している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員は在籍していないが、主治医の指示に従い、連携がとりやすい訪問看護ステーションと契約し、適切な看護を受けられるよう支援している。訪問看護利用時にはノートを設置し、職員全員が意思疎通し、情報を共有できるようにしている。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には医施設での心身状態が把握出来るよう療機関へ情報提供を行っている。また、入院先での状況、今後の見通しなどをSWから聴取し、退院後の受け入れ態勢を整えるよう努めている。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>場合によっては入居の面談の際、終末期に入った際に事業所としてできることなどを、これまでの入居者の例を取り上げるなどして説明している。終末期に際しては、主治医と連携を図り、ご家族の意向をうかがいながら方向性を決定している。他科受診や緊急に入院が必要な場合も主治医の指示のもと、同行したり、情報提供等を行っている。</p>	<p>指針を基に入居時に説明し同意書をもっている。状況変化時は、その都度主治医から家族に説明を行い、家族の意向を確認しながら方向性を共有し支援している。訪問診療・訪問看護等を使いながらチームでの支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎日の申し送りを密にし、特変については特に気配り、兼ねてより訓練している事がスムーズに実践できるようにする。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年3回のうち、2回は消防署・消防設備などの協力のもと、消防訓練を行い、夜間総合訓練を行っている。防火管理者が責任を持って、その度異なった災害を想定し、各署と連携を計り、研修・訓練等を行っている。</p>	<p>年2回、消防署の指導の下に火災時の避難訓練や消火訓練の夜間総合訓練を実施している。観察チェックの研修も実施し指導を受けている。スプリンクラーの点検も業者に来てもらっている。自主訓練は事業所前の駐車場への避難訓練を行っている。近隣の避難場所として布団等の準備もしている。近隣住民の参加協力を依頼している。非常用として、水や飲み物・缶詰・レトルト食品等を備蓄している。カセットコンロ・防災頭巾がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者様の今までの生活を大事にして声かけする時も笑顔で声掛けし、言葉遣いにも丁寧な言葉遣いをする。居室に入る際ノックをするよう心がけている。</p>	<p>入職時やケア会議で接遇や言葉遣いについて事例を用いて勉強会をしている。日頃から職員は丁寧な言葉遣いや笑顔での声かけを心がけている。排泄や入浴時は大きい声での声掛けはせず、物を投げるなどの危険行為がある場合は注意し、すぐスキップでフォローする対応をしている。呼称は苗字で〇さんと呼んでいる。利用者を尊重した態度で洋服等、利用者と一緒に選んでいる。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の性格を把握してその方が考えている事や希望に耳を傾けていくようにする。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様の今までの暮らしを把握して、楽しみを持って生活できるように支援していく。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>季節に応じて衣類を替え、体調に気をつけながら気持ちよく生活できるようにする。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に収穫された食材を使用し、ご自宅で生活されていた頃の懐かしい料理・味。色味を楽しまれる。準備や片付けも自立度に合わせ行われている。	献立は職員が好みを取り入れて作成している。食形態は柔らかめの御飯や細かい刻み食等で提供している。もやしの根切りやジャガイモ・ニンジンを切ったり、つわの皮むき等の下準備・台ふき・茶碗洗いを、それぞれの力を活かしながら職員と一緒にしている。行事食や誕生日には好みでちらし寿司や茶碗蒸し・ケーキを提供し食べるのが楽しみとなるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養場バランスの良い食事を提供し、月々の体重測定を実施、日々の食事量を把握し、不足分は栄養補助食・経口補水等で補い、支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔内の歯磨きへの声掛け、誘導と共に不十分な場合は介助している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用して、排泄パターン把握する努力をするとともに、状況に応じたその人に合った対応をしている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、羞恥心に配慮した対応で声かけ誘導し、トイレでの排泄支援をしている。足の悪い利用者は希望でポータブルトイレ使用を行い後始末や消毒も自分で行い、見守り支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防は食物繊維を含む食品や身体を動かすエクササイズに取り組んでいる。排泄状況をノートで日々把握している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週2回実施している。その中で入る順番など希望を聞いている。その日の体調などで時間をずらす事もある。入浴中・後も笑顔で喜んで頂けるよう会話に配慮している。	週2回の午前入浴支援である。浴槽に入らない利用者は湯気と掛け湯で支援している。夏はシャワー浴を行い、汚染時はその都度に支援している。入浴拒否がある場合、タイミングを見て声かけしたり、声掛けを工夫し、職員交代もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はお手伝い・運動や活動を取り入れ夜間の安眠につなげている。一人ひとりの体調に合わせて身体の負担のないよう日中でも静養時間を設けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は一人ひとり包装されており、服用する時は名前を呼びながら確認している。薬の変更がある場合は申し送りなどをし、薬の作用による体調の変化など観察し、職員間での情報の共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>その方の生活歴・職歴などの情報収集を行い、やりがいのある喜びを感じて頂けるように努めている。レクリエーション（トランプ・かるた・しりとり）や食事の手伝い・洗濯たたみなどして頂いている。草餅作り、得意な事も行なえる様支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で外出は難しいが、自然の中にある施設なので、季節によってはお茶会・散策ができる様支援している。庭から桜の木が見えて、春は花見をしたりする。</p>	<p>日常では事業所前の駐車場での散策や庭で花見をしたり、つわ採りをしてお茶会をしたりして、外気浴や外出支援を行っている。コロナ感染禍で外出が難しいが、春の木市に全員で出かけたたり買い物に出かけて、楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員は利用者様の小口現金を家族の協力のもと、コンビニ等で使用できるように支援しています。又家族が来られた際、帳簿に利用状況を見て頂き、サインをしてもらってます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話等はいつでも取次ぎし、会話やご利用者様の交流関係が継続できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は四季折々の花を飾りリビングは陽当たりも良く、時々換気をして過ごしやすい、日々楽しく料理の下ごしらえ等、お手伝いをしてもらっている。	リビングは温・湿度を適度に保ち、空気清浄機も設置している。日中は窓を開け、カーテンで採光を調整し、過ごしやすい環境を心がけている。壁にはイベントの写真やボランティアの方が届けてくれた壁画を掲示している。玄関には季節の花が飾られ季節感がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自席にて歌を歌ったり、トランプをしたりして過ごし、眠たくなったら居室にて休んだりして過ごされる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自身の服・大切にされている持ち物等を見える所に配置したり、風通し・空調に気配りして快適に居室で過ごせる環境を工夫している。	各居室には、身体状態に応じてタイプの違う電動ベッドを設置し、タンスやエアコンもある。馴染みのタンス・クリアケース・ハンガー・テレビ・ラジオ・位牌・遺影・家族の写真・クッション・ぬいぐるみ等、それぞれ使い慣れたものを持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行等の安全を見守りつつ自立して行えることを声掛けし、応じられる分だけ安全に充実した生活が送れる様工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない